

小田社 (風) 一七七
 乎田部連 (姓) 一七四
 小足媛 (紀) 一七〇
 少足命 (風) 一六八
 遠直嘉 (延) 一六六
 小近 (風) 一六二
 * をちかたのあはぬのきざし (紀) 一六二・一六七
 * をちかたのあららまつばら (紀) 一七〇
 越智直 (姓) 一六四
 越智直淨繼 (姓) 一六六
 遠直娘 (紀) 一六八
 越智神社 (延) 一七〇
 尾治針名眞若比女神社 (延) 一七二
 をち水 (萬) 一七四
 尾津 (紀) 一七六
 小槻大社 (延) 一七八
 小槻臣 (姓) 一八〇
 小槻神社 (延) 一八二
 小月之山君 (記) 一八四

小筑波岳 (風) 一八四
 尾津直 (姓) 一八〇
 小豆首 (姓) 一八二
 尾津神社 (延) 一八四
 乎豆神社 (延) 一八六
 小津神社 (延) 一八八
 小津君 (延) 一九〇
 尾津前の一松 (記) 一九二
 尾津濱 (紀) 一九四
 小手子 (紀) 一九六
 男弓端之調 (記) 一九八
 男之弓弭調 (紀) 二〇〇
 男弭之調 (拾) 二〇二
 男女之調 (紀) 二〇四
 男女耦生る神 (紀) 二〇六
 雄銳神社 (延) 二〇八
 小銳神社 (延) 二一〇
 袁杼比賣 (延) 二一二
 遠止美の水 (延) 二一四

童女 (記) 二〇〇
 處女 (萬) 二〇二
 娘子 (萬) 二〇四
 未通女 (萬) 二〇六
 袁等賣草 (延) 二〇八
 * をとめにただにあはむと (記) 二一〇
 * をとめのいかくるをかを (記) 二一二
 * をとめのこのべに (記) 二一四
 童子女松原 (風) 二一六
 越賣引國 (風) 二一八
 嬢子山 (風) 二二〇
 小豐命 (姓) 二二二
 袁那辨郎女 (記) 二二四
 小願媛 (紀) 二二六
 小丹神社 (延) 二二八
 續繼 (風) 二三〇
 小丹生神社 (延) 二三二
 小郊 (延) 二三四
 小拔野の頓宮 (風) 二三六
 小野朝臣 (姓) 二三八

小野臣 (記) 齒 (姓) 一三三
 小野臣妹子 (姓) 一三五
 小野老朝臣 (萬) 一三七
 小野宮 (風) 一三九
 小野稚娘皇女 (紀) 一四一
 小根 (紀) 一四三
 斧 (拾) 一四五
 鏖 (延) 一四七
 男乃宇刀神社 (延) 一四九
 己が家家己が門門祖の名失はず (宣) 齒 (風) 一五一
 雄神 (延) 一五三
 男神社 (延) 一五五
 小野神社 (延) 一五七
 男弭之調 (拾) 一五九
 男夫始めて結髪す (紀) 一六一
 * 土やも空しかるべき (萬) 一六三
 * 斧取りて丹生の檜山の (萬) 一六五
 小野朝臣毛野 (紀) 一六七
 小野天大神之多初阿豆委居命神社 (延) 一六九

小野天大神之多初阿豆委居命神社 (延) 一四〇
 小野妹子臣 (紀) 一四二
 小野臣妹子を大唐に遣す (紀) 一四四
 小野臣妹子大唐より至る (紀) 一四六
 小野神社 (延) 一四八
 尾野神社 (延) 一五〇
 尾野毛野を新羅に使せしむ (紀) 一五二
 尾野の湊 (延) 一五四
 雄元 (紀) 一五六
 陽元 (紀) 一五八
 男之水門 (記) 一六〇
 雄水門 (紀) 一六二
 小羽江王 (記) 一六四
 小葉枝皇子 (紀) 一六六
 小鉗 (風) 一六八
 小橋 (紀) 一七〇
 小橋江 (記) 一七二
 小椅君 (記) 一七四

小橋造 (姓) 一八四
 雄柱 (紀) 一八六
 男莖 (拾) 一八八
 小幡神社 (延) 一九〇
 小泊瀬天皇 (紀) 一九二
 小長谷若雀命 (記) 一九四
 小泊瀬舍人 (紀) 一九六
 小長谷造 (記) 一九八
 小泊瀬造 (記) 二〇〇
 小長谷部 (記) 二〇二
 小長谷部笠磨 (萬) 二〇四
 小泊瀬稚鸕鷀天皇 (紀) 二〇六
 小泊瀬稚鸕鷀尊 (紀) 二〇八
 小祝神社 (延) 二一〇
 小濱 (紀) 二一二
 小濱神社 (延) 二一四
 * をばやしにわれをひきいれて (紀) 二一六
 * をばやしにわれをひききて (紀) 二一八
 小墾田 (紀) 二二〇

遠呂智	(記) 二二	遠呂智	(延) 一〇六・一〇七	遠呂智	(延) 一〇六・一〇七
蛇	(記) 九三・九四	蛇	(延) 一〇六・一〇七	蛇	(延) 一〇六・一〇七
大地	(紀) 二〇六・二〇七・二〇八・二〇九	大地	(延) 一〇六・一〇七	大地	(延) 一〇六・一〇七
大蛇	(紀) 二〇三・二〇四・二〇五・二〇六	大蛇	(延) 一〇六・一〇七	大蛇	(延) 一〇六・一〇七
蛇之龜正	(紀) 三〇	蛇之龜正	(延) 一〇六・一〇七	蛇之龜正	(延) 一〇六・一〇七
蛇韓鋤之劍	(紀) 三三	蛇韓鋤之劍	(延) 一〇六・一〇七	蛇韓鋤之劍	(延) 一〇六・一〇七
拜幣志神社	(延) 一〇六・一〇七	拜幣志神社	(延) 一〇六・一〇七	拜幣志神社	(延) 一〇六・一〇七
小井社	(風) 一〇六	小井社	(延) 一〇六・一〇七	小井社	(延) 一〇六・一〇七
麻殖	(拾) 八六	麻殖	(延) 一〇六・一〇七	麻殖	(延) 一〇六・一〇七
唯と稱せ	(延) 一〇四・一〇五・一〇六	唯と稱せ	(延) 一〇六・一〇七	唯と稱せ	(延) 一〇六・一〇七
陰陽寮	(紀) 七六	陰陽寮	(延) 一〇六・一〇七	陰陽寮	(延) 一〇六・一〇七
遠流	(令) 六六	遠流	(延) 一〇六・一〇七	遠流	(延) 一〇六・一〇七

昭和十二年八月二十五日初版発行
昭和三十七年二月十一日再版発行

編輯者

大倉精神文化研究所

代表者 大倉邦彦

印刷者

株式 三省堂三鷹工場

代表者 小倉正風

東京都三鷹市上連雀九九〇

横浜市港北区太尾町大倉山

発行所

大倉精神文化研究所

電話横浜 (45) 〇〇五〇番
振替横浜 一三番

1950

1950

From Burma Research
Institute
1950

